

看護師職能委員会 I・II

はじめに

徳島県看護師職能委員会は、「病院領域」(領域Ⅰ)と「介護・福祉関係施設・在宅等領域」(領域Ⅱ)の2領域の双方の活動を行っています。委員会活動は、看護師職能が抱えている問題から、今後取り組むべき課題を整理する課題発見機能と、日本看護協会の活動方針や重点事業などを会員に周知し現場の意見を集約する意見集約機能を有しています。令和5年度は、それぞれの領域において次の2つの交流会・研修会を開催いたしましたので報告いたします。

イキイキと働きつづけられる 職場づくり

看護師職能領域Ⅰ 交流会・研修会

日程 令和5年9月23日(祭日・秋分の日)9:30~12:00 **受講者** 会場(看護会館) 25名 WEB参加 42名

講師 テキックス株式会社代表取締役社長・人事コンサルタント 石田 秀朗 先生

看護師職能Ⅰの活動報告の後、採用や教育に関する書籍・キャリアに関する講演など多数のご活躍をされている石田秀朗先生にご講演いただきました。人材確保と、定着、個人キャリア開発に関して、またこれからのナースの働き方や管理者のマネジメントに関する考え方をご教授いただき、実りある研修内容でした。目的を共有できる仲間と協働・連携によるイノベーションがこれからの働き方には大切であることを再認識しました。



暮らしの場における看取りの 現状と課題 ~医師の立場から・看護師の立場から~

看護師職能領域Ⅱ 交流会・研修会

日程 令和6年2月23日(祭日・天皇誕生日)9:50~12:00 **受講者** 会場(看護会館) 30名 WEB参加 23名

講師 徳島県立海部病院副院長 影治 照喜 先生、徳島県立海部病院看護局長 勝瀬 昌代 先生

「住み慣れた我が家や地域で最期まで暮らしたい」という患者、家族の思いに寄り添うため、県立海部病院での取り組みについてご講演頂きました。家族の意志や価値観を尊重し、穏やかな最期を迎えるためには、患者、家族への支援だけでなく、情報共有、他職種や地域との連携において看護師の役割は重要であると感じました。



《全国看護師職能委員長会 参加》

令和5年7月28日 東京ベルサール御成門タワー
令和6年3月1日 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

《中国・四国地区看護師職能委員長会 参加》

令和5年11月2日 徳島グランヴィリオホテル

《令和5年度 看護師職能委員会委員》

【委員長】宮本 美恵(徳島県立中央病院)

【副委員長】藤原都志子(複合型サービス事業所あい)

【委員】大西 由香(藍里病院)

岩本 真理(徳島赤十字病院)

辻 敬子(きたじま田岡病院)

富樫 和代(独)国立病院機構徳島病院

岡 香於里(たまき青空病院)

切佐古幸代(徳島県立三好病院)

戸田 伴江(徳島市民病院)

渡部 光恵(四国大学看護学部)

【担当理事】鈴記 洋子(徳島県看護協会 第一副会長)



2023年度 職能委員会だより

徳島県徳島市北田宮1丁目329-1 ☎ 088-631-5544

発行

公益社団法人
徳島県看護協会
職能委員会

発行日

2024年3月31日



徳島県看護協会では、保健師・助産師・看護師及び准看護師が教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質向上を図るとともに、安心して働き続けられる環境づくりを推進しています。あわせて人々のニーズに応える看護活動を通し、県民の健康的な生活に寄与することを目的に様々な事業を展開しています。

そこで、このたび、各職能委員会の活動を多くの看護職の皆様にご紹介し、ともに活動していただけることを願い、職能委員会だよりを発行することといたしました。

是非、各種研修会及び職能集会へのご参加を期待しております。



かんごちゃん
徳島県バージョン

保健師職能委員会

はじめに

保健師職能委員会は、保健師の専門性の向上と時代の要請に応じた活動を行うために、保健師自らが研鑽を積み、領域を超えた連携強化とネットワークの推進に向けて活動しています。

この3年間、コロナ禍で人との交流が制限され、十分な活動ができませんでしたが、令和5年度は新任期保健師を対象としたランチミーティングをはじめ、対面での研修会等を開催することができました。

令和6年度は、さらに保健師の専門性の向上のための研修会等、より充実した活動を展開していきたいと思っています。

ランチミーティング

日程 令和5年10月10日(火)12:00~13:00 **参加者** 64名

新任期(1~3年目)保健師を対象に軽食をとりながら、保健師職能委員会活動等報告、新任期同士の意見交換を実施しました。実施後のアンケートでは、現在困っていることやあったら良いと思う制度や仕組みについて、多くの意見があり、新任期保健師への多様な支援の必要性を実感しました。

保健師職能集会

島田版ネウボラの取組について

日程 令和5年10月22日(日)10:00~12:00 **受講者** 33名

講師 静岡県島田市健康福祉部健康づくり課技監 鈴木 仁枝氏、グループワーク

島田市の取り組みの紹介後、今後自分たちはどんな取り組みができるのかをテーマにしたグループワークでは、活発な意見交換の場となりました。

保健師・助産師合同研修会



徳島県における頭蓋形状誘導療法の現状と課題について ~保健師に知ってほしいこと~

日程 令和5年11月14日(火)13:30~15:30 **受講者** 28名(会場参加 12名 Web参加 16名)

講師 徳島大学病院脳神経外科 安積 麻衣 先生

《母子保健に関する情報提供》

情報提供 徳島県未来創生文化部こども未来局 こどもまんなか政策課 高瀬 彩水 主任

安積先生から頭蓋変形のチェックポイントや治療法についての講義をいただきとても有意義な内容の研修会でした。

保健師スキルアップ研修会

自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント参加

日程 令和5年12月17日(日)13:00~16:00 **参加者** 43名

将来、保健師として働くことを希望する大学生等を対象に保健師の仕事の魅力等について相談。

参加された学生さんたちは、熱心に保健師の業務について質問し、相談を受ける保健師も熱く語るというように、非常に密度の濃い時間を持つことができました。



《令和5年度委員紹介》

【委員長】原 美智代(美馬保健所)

【委員】加治 明子(徳島保健所)

榎原 陽子(阿南保健所)

【副委員長】岡久 玲子(徳島大学)

藤本ありさ(三好保健所)

武市有紀子(徳島市)

【担当理事】鈴記 洋子(徳島県看護協会 第一副会長)

助産師職能委員会

はじめに

助産師職能委員会は、全ての母子にとって安心・安全な出産環境を提供できる体制づくりとして、地域包括ケアを推進し、働く環境、子育ての環境の両面から、妊産婦とその家族への切れ目のない支援を提供できることを目標に活動しています。また、2022年度から、助産師活用推進事業と協働し、継続ケアに重点をおき、研修会・交流会を企画しています。今後は、三職能を含め多職種との連携を深めつつ、助産師としての専門性を発揮できるよう支援していきたいと思っています。

周産期医療の現状と課題2024年の医師とのタスクシフト/シェアに向けて

教育・助産師職能委員会共催研修

日程 令和5年7月23日(日)9:30~12:00 **受講者** 53名 **講師** 日本看護協会 井本 寛子 常任理事

周産期施設で働く助産師だけでなく、看護管理者や教育現場など幅広い参加がありました。少子化による人口減少社会の中で助産師の役割期待は高く、個々の専門性を深めるとともに、助産師としての働き方を再考する必要があることを熱く講演いただきました。

継続ケア ~助産師に期待される役割と連携 妊産婦が必要とするケアとは~

助産師職能委員会研修

日程 令和5年9月2日(土)13:30~16:30 **受講者** 65名 **講師** 京都大学大学院医学研究科 ドーリング 景子 先生

昨年度より「継続ケア」に重点をあて、助産師活用推進事業と協働し取り組んでいます。その一環として今年度は、LMC制度に造詣の深いドーリング景子先生にご講演いただきました。受講者の97%が継続ケアの必要性を感じているというアンケートより関心の高さがわかりました。「出産体験は、その女性の産後・子育て・一生に影響を与える産後ケアでは遅い」というフレーズが印象に残るお話の中で、出産体験に影響を与える要因は、①どこで産んだか②どんなお産をしたか③どんなケアを受けたかの3つであることを学びました。様々なシステムの中でシレンマを感じつつも、まずは一人から、少しずつ取り組みたいという意見が多く聞かれ、今後の活動に希望を持てる機会となりました。



島田市版ネウボラの取組について

保健師・助産師合同研修

日程 令和5年10月22日(日)10:00~12:00 **受講者** 33名 **講師** 島田市健康福祉部健康づくり課 鈴木 仁枝 技監

妊娠期から一貫した支援をしているフィンランドのネウボラを導入し、先進的な取り組みの実例を学び、県内の自治体や医療機関において、保健師と助産師が連携し、母子とその家族を支援するためには、ハイリスクアプローチだけでなく、ポピュレーションアプローチの重要性を再認識できた研修会でした。また、グループディスカッションをすることで、他施設他職種との意見交換ができ、職種毎の現状認識や問題提起など、これから必要な取り組みについて話し合う機会となりました。

①助産師出向とこれからの助産師の働き方について

助産師職能交流集会・助産師活用推進事業報告会

日程 令和6年2月25日(日)9:30~12:00

②継続ケアの現状と課題について

参加者 36名

①助産師出向とこれからの助産師の働き方について②継続ケアの現状と課題についてというテーマでディスカッションしました。参加者は、施設勤務助産師だけでなく看護管理者、開業助産師であり、それぞれの施設や職種毎の具体的なケア提供体制の意見交換や出向システムにおける希望や課題の共有ができました。今後、各施設あるいは個々の助産師同士のつながりが見える研修会や情報交換できる場への期待がありました。



《助産師職能委員会活動報告》
職能委員長 森内 洋美

《助産師活用推進事業5年間の取り組みについて》
助産師活用推進事業アドバイザー 鈴記 洋子

《助産師出向報告》
徳島大学病院 程野 真弓
JA阿南医療センター 伊丹 恵美

《令和5年度 助産師職能委員会委員》

【委員長】森内 洋美(徳島大学病院)

【委員】富士本里美(吉野川医療センター)

橋本 美歩(県立中央病院)

【副委員長】知野 広美(町立半田病院)

伊丹 恵美(阿南医療センター)

竹田 紀子(徳島赤十字病院)

村井 芳江(徳島市民病院)

【担当理事】鈴記 洋子(徳島県看護協会 第一副会長)